



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
組合員名簿 (13.10)

会社名	地域	TEL
北海道		
旭川商会	旭川市	0166-47-2771
南まるふく八田商会	上川郡	0165-34-2457
㈱アシスト・フクダ	函館市	0138-48-2000
㈱プロス	江別市	011-389-2633
㈱ビーグル	苫小牧市	0144-51-8008
㈱ケーエー車輛	北広島市	011-377-5577
㈱空知オートパーツ	赤平市	0125-34-4100
㈱オカダオートパーツ	河西部	0155-62-6833
㈱マテックELV石狩	石狩市	0133-60-4828
㈱エルパ北海道	帯広市	0155-38-8011
釧路オートリサイクル㈱	釧路市	0154-57-3718
㈱ポールド	北見市	0157-66-5775
㈱ライズコーポレーション	札幌市	011-802-2121
㈱南商会	札幌市	011-882-1770
青森県		
㈱近田商事	三戸郡	0178-62-5471
㈱むつパーツ	むつ市	0175-22-1021
㈱青南商事弘前支店アルトレック青森	青森市	0172-69-1199
㈱青南商事八戸支店アルトレック八戸	八戸市	0178-28-8727
㈱エコブリッジ	八戸市	0178-73-1117
秋田県		
㈱サン・アール	由利本荘市	0184-22-5740
㈱現代	鹿角郡	0186-29-3990
岩手県		
㈱三陸パーツセンター	下閉伊郡	0193-81-1155
㈱青南商事盛岡支店アルトレック矢巾	紫波郡	019-698-3399
山形県		
㈱永田プロダクツ	酒田市	0234-34-1292
㈱青南商事酒田支店アルトレック酒田	酒田市	0234-35-0120
宮城県		
㈱西武オートパーツ	大崎市	0229-23-3071
㈱大友自動車工業	名取市	022-386-2217
㈱アイエス総合	刈谷市	0220-21-5153
㈱青南商事仙台支店アルトレック塩竈	塩竈市	022-361-6669
福島県		
㈱福島リバー	郡山市	024-946-1180
㈱安澤商店	西白河郡	0248-27-1736
㈱富山商会金屋工場	郡山市	024-944-1280
㈱オートセンターNAO	大沼郡	0242-55-1055
㈱プロアース	伊達市	024-573-8091
㈱カンジ自動車商会	福島市	024-555-5131
㈱デック	いわき市	0246-47-1521
㈱櫻並商会	郡山市	024-944-4100
茨城県		
㈱茨城オートパーツセンター	小美玉市	0299-48-1398
㈱田崎商店	結城市	0296-32-1893
㈱ユアーツ水戸店	水戸市	029-226-4261
栃木県		
㈱栃木パーツ	佐野市	0283-23-3256
㈱しのぶや	那須郡	0287-72-0450
オートパーツワイ(㈱岩井自動車商会)	宇都宮市	028-662-2287
㈱しのぶや みどり工房	那須郡	0287-71-1277
㈱ユアーツ宇都宮店	宇都宮市	028-649-5967
群馬県		
㈱拓殖商会	伊勢崎市	0270-76-3683
カーズチール㈱	前橋市	027-251-6365
㈱ユアーツ前橋店	前橋市	0272-55-5651
カーズチール㈱ 東毛営業所	太田市	0276-56-6411
新潟県		
㈱佐藤商事	村上市	0254-62-2178
㈱共伸商会	新潟市	025-386-1555
㈱黒崎部品	新潟市	025-377-2410
リ・パーツ㈱坂井自動車	新潟市	0250-61-0501
エコリサイクル共伸生産工場	新潟市	025-386-1555
埼玉県		
㈱ユアーツ	熊谷市	048-524-0610
㈱3R	久喜市	0480-26-3559

会社名	地域	TEL
東京都		
㈱CRS埼玉	川越市	049-228-5111
メタルリサイクル㈱パーツセンター	比企郡	049-299-2733
ユアーツ大宮店	さいたま市	048-652-0505
ユアーツ熊谷店	熊谷市	048-528-7641
西多摩郡		
㈱オートパーツ片岡	西多摩郡	042-556-2735
三協自動車㈱	調布市	03-3300-0685
㈱ユビック	大田区	03-3736-0431
ユアーツ八王子店	八王子市	0426-37-5580
ユアーツ足立店	足立区	03-5845-1371
ユアーツ練馬店	練馬区	03-3904-1890
千葉県		
㈱オートパーツ千葉	匝瑳市	0479-73-0830
㈱トキオ	佐倉市	043-498-2461
㈱オートサービス東関	千葉市	043-257-9449
㈱リサイクルガレージケーワン	船橋市	047-457-5758
㈱ベストパーツ	市原市	0436-24-4182
ユアーツ千葉店	千葉市	043-223-6423
メタルリサイクル㈱千葉パーツセンター	柏市	04-7190-0980
神奈川県		
㈱大橋商店	横浜市	045-761-6551
㈱オートパーツ神奈川	厚木市	046-220-1441
㈱ユアーツアイ	横浜市	045-921-4479
㈱トライアル	横浜市	045-595-3035
㈱杉之間	小田原市	0465-46-1082
㈱西山自動車商会	平塚市	0463-32-5852
山梨県		
㈱テラダパーツ甲府営業所	中巨摩郡	055-287-7761
静岡県		
㈱ヤマタパーツ	沼津市	055-921-9678
㈱マルトシ青木	藤枝市	054-644-5656
㈱太田部品㈱	御殿場市	0550-89-5110
㈱コーエイ	浜松市	053-462-1128
オレンジパーツ平成	静岡市	054-253-5646
㈱アンドーカーパーツ	下田市	0558-22-0969
長野県		
㈱小諸パーツセンター	小諸市	0267-23-7588
㈱オートパーツ長野	松本市	0263-40-2100
㈱ハセ川自動車長野営業所	中野市	0269-24-7124
㈱テラダパーツイダ	下伊那郡	0265-34-1522
岐阜県		
㈱カーパーツコンドウ	養老郡	0584-36-0022
エコパーツ岐阜㈱	可児市	0574-62-2328
㈱山一商店高山営業所	高山市	0577-35-5963
エコパーツ岐阜㈱ 岐阜店	岐阜市	058-249-5785
愛知県		
㈱名古屋解体メカイパーツ	名古屋	052-736-4741
㈱コマゼン	弥富市	0567-68-4182
㈱テラダパーツ	刈谷市	0566-22-3709
㈱吉田商会	豊橋市	0532-53-3907
㈱佐竹自動車部品	豊田市	0565-52-0015
アーク㈱	清須市	052-401-7377
㈱サイトウパーツ	豊川市	0533-86-2408
㈱川原商会	一宮市	0586-62-1757
㈱ジーパーツ	知多郡	0569-74-1007
㈱ワープ	岡崎市	0564-27-7022
ユアーツ名古屋店	名古屋	052-243-9800
㈱テラダパーツ小垣江営業所	刈谷市	0566-22-3709
㈱テラダパーツ半田営業所	半田市	0569-25-0045
三重県		
㈱オートパーツまるも	四日市市	059-329-3987
㈱富士クラッチ工業所	四日市市	059-325-6623
富山県		
㈱ハセ川自動車	滑川市	076-477-9700
㈱山一商店	小矢部市	0766-67-2721
㈱堀川自動車商会	氷見市	0766-74-3022
石川県		
㈱ツクダ自動車	白山市	076-276-1593
㈱金沢ヨコイ部品	金沢市	076-239-4510
㈱リペア	七尾市	0767-57-2114
㈱メタルオート北陸	小松市	0761-21-0168

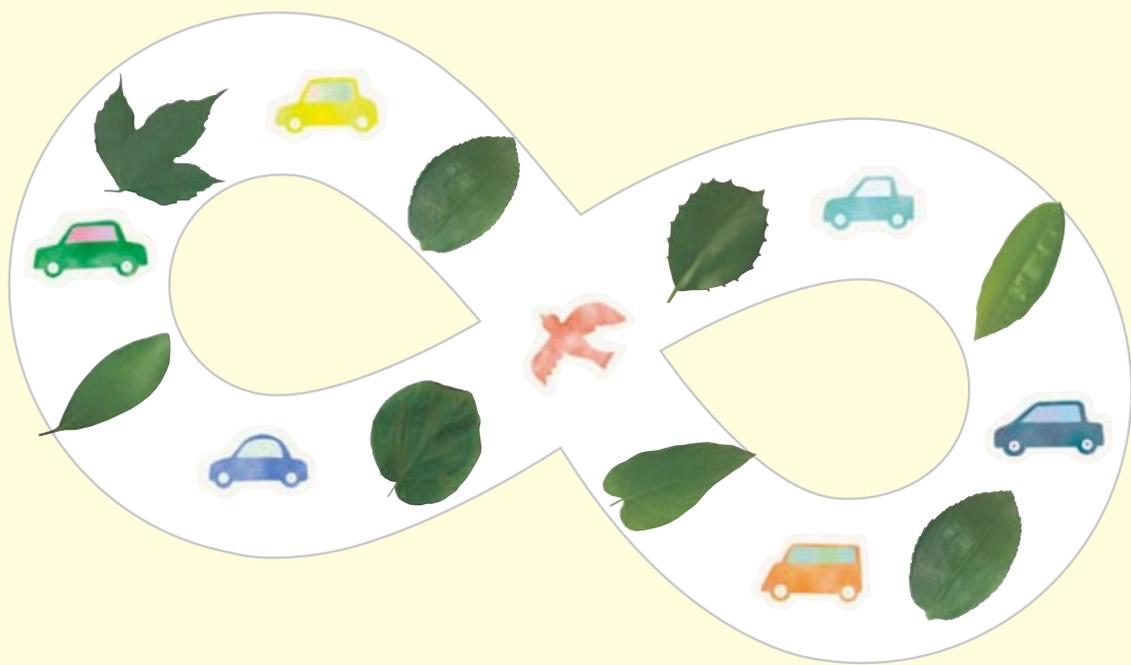
会社名	地域	TEL
福井県		
㈱サンシャインネットパーツ	福井市	0776-57-1236
㈱ナカスジオートパーツ	坂井市	0776-51-3253
津田鋼業㈱	越前市	0778-43-1701
滋賀県		
㈱カンザキ	東近江市	0748-22-1389
京都府		
㈱エコパーツ京都	八幡市	075-983-9991
㈱ラ・テール	京都市	075-681-3431
㈱金子商会	舞鶴市	0773-82-0130
大阪府		
ラップス	藤井寺市	0729-37-0268
吉村エコパーツ	羽曳野市	072-958-3454
㈱多田自動車商会大阪営業所	大阪市	06-6682-8861
兵庫県		
㈱多田自動車商会	三木市	0794-83-0162
㈱堀尾自動車部品	姫路市	079-298-4650
㈱桜井	尼崎市	06-6414-2800
和歌山県		
㈱草山パーツ	和歌山市	073-477-0532
㈱紀南パーツ	日高郡	0739-84-2222
岡山県		
クレストパーツ(㈱中村解体)	倉敷市	086-446-2041
㈱桃太郎部品	岡山市	086-241-5678
岡崎車輛部品㈱	瀬戸内市	0869-66-8511
ウエイクパーツ㈱和気商店	岡山市	086-243-6059
広島県		
㈱福山セコ	福山市	084-953-3201
エコテクノ㈱	山県郡	0826-72-0333
㈱エビス	安芸郡	082-884-1111
エコテクノ㈱ 広島営業所	広島市	082-832-6345
山口県		
㈱オートパーツ幸城	宇布市	0836-44-2412
鳥取県		
㈱東和	東伯郡	0858-52-2998
㈱西川商会	鳥取市	0857-28-9011
島根県		
㈱山陰UP販売	安来市	0854-23-2466
㈱山陰エコリサイクル	松江市	0852-72-9301
島根オートリサイクルセンター	出雲市	0853-48-2605
香川県		
㈱佐伯商会	高松市	087-840-3133
愛媛県		
㈱予洲商事	今治市	0898-32-0384
㈱オートパーツ新居浜	新居浜市	0897-67-1577
徳島県		
徳島オートパーツ㈱	板野郡	088-672-7773
㈱青木興業	小松島市	0885-32-1875
高知県		
㈱みうら	高知市	088-833-2072
㈱國真商店	四万十市	0880-35-6181
福岡県		
㈱グッパ福岡	大野城市	092-503-5099
㈱イノクチ	筑後市	0942-53-7617
㈱マグフクオカ	福岡市	092-477-8103
㈱エイ・ティ・エム	京都市	093-435-2082
大成自動車㈱	粕屋郡	092-623-7000
WARC西日本オートリサイクル㈱	北九州市	093-752-3270
㈱オートリサイクルナカシマ福岡	筑紫野市	092-926-6298
長崎県		
㈱パーツライン	佐世保市	0956-33-1532
㈱アール・トーヨー	長崎市	095-884-2781
大分県		
㈱オートリサイクルナカシマ	日田市	0973-23-0327
オートパルスニホウ	宇佐市	0978-34-0034
熊本県		
㈱パーツランド東部	合志市	096-248-2333
㈱オートパーツ伊地知熊本営業所	熊本市	096-364-0238
宮崎県		
㈱ユービー宮崎	北諸県郡	0986-52-7054
鹿児島県		
㈱オートパーツ伊地知	鹿児島市	099-267-0468
㈱鹿児島パーツ	南九州市	0993-56-1066
㈱タバタ商会	鹿屋市	0994-43-2068

社会・環境報告書

2013

Corporate Social Responsibility Report

社会的価値の高い企業集団をめざして



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合 環境委員会
〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
http://www.ngp.gr.jp/



持続的成長の実現に向けた「顧客との信頼関係」を深めます

平素より弊組合への格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2011年10月、我が国の経済が東日本大震災の混乱が続く中、理事長に就任して2年間、リサイクル業界リーディンググループとしての自覚をもって組合事業活動に取組んでまいりましたが、やはり事業環境の変化を如実に感じ、環境の変化についていくのが大変であることの多くを学ぶ時間であったと振り返っています。

リサイクル業界はここ数年、海外からのバイヤーが増えて中古車の輸出が増え、日本で解体する車両が減っています。それに加えて損保関係、リース関係など大口クライアントから排出される車両もオークションへ流出する傾向になりつつあり、特に今年の2月頃からはリサイクル部品の生産資源である車両仕入競争が激化し、車両確保が困難な状況に追い込まれていることからリサイクル部品の在庫力、供給力にも影響が及んでいるものと推測しています。

軽・小型自動車の増加、平均使用年数の長期化、修理にかかる費用の節約等を背景に、カーユーザーがリサイクル部品を利用する修理ニーズが増加することが予測されます。

また損害保険会社による本年10月開始の自動車保険事故割増料率の適用は、事故車修理において「保険を使った方が損か、得か」のお客様に対する説明責任および判断材料としてリサイクル部品利用促進の引き金となっています。

事業環境が激しく変化する時代においては、変化を捉えて事態を進化させる柔軟性も不可欠ですが、NGP協同組合は、決して変えることが出来ない創立者大石一彦氏の理念である三大信条「お客様第一」「より良い商品をより正確に早く」「補修部品の業界のリーダーたること」のDNAを今後とも引き継ぐことが重要であると思っております。

前年度は「直往邁進・強い組合員を育てる」をテーマする取組として組合員向けの現場研修「カイゼン塾」などを実施し、組合員社員一人一人が「高品質のNGPブランド」を提供することで、地域社会の様々なお客様から信頼や共感をいただけるものと確信し努力いたしました。

中長期的な視点に立って変化を見据え、将来のあるべきNGP組合像を描き、克服すべき課題を明らかにし、目的に向かって果敢なチャレンジをしてゆかなければならないと考えております。

次世代自動車時代のリサイクル事業の新しい価値感を創造し、自ら社会的責任を担い、自動車社会を良くするという志をもって、「顧客との信頼関係を深める」ことを実践することに精進してまいります。

NGP協同組合の組合員一人一人が責任と義務を全うし、すべてのステークスホルダーとの関わりを大切にしながら、「地球の環境を守り、子供たちへ明るい未来を届ける」という信念をもって、社会とともに成長・発展する組合になることを目指してまいります。

今後とも無一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合
理事長 **長谷川利彦**

多田自動車商会が兵庫県知事賞（優秀賞）を受賞

兵庫県三木市の多田自動車商会（平田武士社長）が「ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2013」で兵庫県知事賞（優秀賞）を受賞しました。

ビジネスグランプリは、兵庫県が県内の中小企業活動の活性化につなげることを目的とし、独創的なアイデアで事業を展開し、業績をあげている事業者を表彰する制度で、昨年からはまったものです。多田自動車商会が中古自動車を再生して取り組んでいるカーリース事業の「リボンカーリース」が目にとまり、県知事賞を射止めました。

中古車と中古部品を活用した同社のリボンカーリースは、1カ月単位で契約できる低額で手軽なカーリースとして地元ユーザーに評価され、貸出車両も100台を超えました。東日本大震災の影響で新車生産が遅延したとき、新車納入までのつなぎに利用するお客様も多く、リボンカーリースはさまざまな場面で活躍しています。



表彰を受ける伊地知社長（右）

オートパーツ伊地知、「地球環境を守るかごしま県民運動推進大会」で、優秀団体表彰を受賞

オートパーツ伊地知（伊地知志郎社長、鹿児島県鹿児島市）が6月4日、かごしま県民交流センター中ホールで、「地球環境を守るかごしま県民運動推進大会」平成25年度環境保全活動優秀団体表彰を受賞しました。



表彰を受ける伊地知社長（右）

NGPのベルマーク活動

2013全国ベルマーク運動説明会実施!

NGP組合員 協賛企業として
説明会では、ベルマーク運動の全体像や意義、ベルマークを集めて整理・集計して財団に送り、お買い物をするまでの流れをDVDやスライドを使ってわかりやすく解説します。

5月15日（水）
名古屋 ㈱コマゼン [朝日ホール 15F]
当日は、300名程の来場があり、主に小学校PTA役員のお母様方でした。有り難いことに弊社のパンフレットも皆さん、隅々まで目を通してくださいました。NGPリサイクル部品についてご理解いただけたものと思っています。



5月16日（木）
四日市 ㈱コマゼン
[四日市市文化会館 2F第3ホール]

5月17日（金）
津 ㈱コマゼン
[三重県教育文化会館 大会議室]



5月21日（火）
宇都宮 ㈱栃木パーツ
[栃木県総合文化センター ギャラリー棟3F]



6月5日（水）
函館市 ㈱アシスト・フクダ
[函館市市民会館 3F小ホール]
函館市市民会館にて、ベルマーク運動説明会が開催されました。PTAの方を中心に約90名の方にご参加いただきました。「NGPリサイクル部品」、「NGPエコひろば」のパンフレットを配布させていただき、最後にリサイクル部品について紹介させていただきました。



6月7日（金）
旭川市 ㈱辻商会 [旭川北洋ビル]
お忙しい中、学校関係の方にご参加いただき、NGP協同組合の取り組み、リサイクル部品などについて説明しました。ご来場ありがとうございました。



6月14日（金）
名古屋 ㈱コマゼン
[三重県教育文化会館 大会議室]
説明会では、簡単な中古部品についての説明とNGPの紹介をさせていただきました。また、皆様に修理、車検の際、中古部品をご利用いただくようお願いをしました。

6月20日（木）
水戸 ㈱茨城オートパーツセンター



2012.9 九州支部 ㈱ユービー宮崎
大塚小学校にベルマークを贈呈



教頭先生、PTA会長さん、ベルマーク部長さんと会談させていただきました

2012年12月 被災校支援に20万円寄贈
「東日本大震災の被災校への支援に役立ててほしい」と、20万円をベルマーク教育助成財団に寄贈しました。10月末にあった定期総会で寄贈を決議、長谷川理事長が「未来ある子どもたちへの支援活動として、息長く取り組んでいきたい」として、ベルマーク財団の宮田謙一常務理事に目録を手渡しました。



従業員とともに

明るくやりがいのある職場

NGP組合員の従業員が持てる力を十分に発揮できる職場をめざし、透明で公正な評価制度を整え、従業員の意欲を尊重した人事制度を奨励しています。年齢・性別・身体的特徴・国籍の違いなどを「多様性」として認め、また性別や雇用形態などに関わりなく、存分に実力発揮できる環境づくりを進めます。

調達取引先とともに

公正で透明性の高い購買体制

NGP組合員の取引先とのパートナーシップに基づく公正・公平な購買取引を推進し、取引先と健全な相互利益関係の実現を目指しています。また調度品については周辺環境への配慮や環境マネジメント体制を評価して環境配慮製品の購入を優先しています。

地域社会とともに

NGPはよき企業市民として、法令を遵守して行政や地域の方々との対話に努め、地域社会との調和を保つよう配慮しています。事業活動・環境保全などについて情報を開示して地域の方々の適切なコミュニケーションに努めていきます。

西川商会および山陰エコ・リサイクル、災害時支援体制の全面協力へ

NGP協同組合の西川商会（鳥取県鳥取市）の西川正克社長が会長、山陰エコ・リサイクル（島根県松江市）の福島伸光取締役が副会長を務める山陰ELVリサイクル協議会が、鳥取県知事公邸で、鳥取県および鳥取県内19市町村と「災害時における被災車両の撤去等に関する協定」を締結しました。

同協議会は東日本大震災の際、日本ELVリサイクル機構からの要請を受け、NGPグループの宮城県仙台市の被災車

両撤去活動に参加しました。

その経験を活かし、鳥取県内で大規模災害が発生した場合、被災した車両の撤去・移動などを迅速に実行、被災地を少しでも早く復旧・復興できるよう、鳥取県および県内の市町村、同協議会とて協力体制を構築したものです。

平成25年3月26日の協定締結式には、平井伸治鳥取県知事、竹内功鳥取市長、石操日吉津村長などが参列されました。協定書に署名後、平井鳥取県知事が、「初期段階の復旧活動で妨げになる被災車両の撤去に、プロの力をお借り出来ることは心強い。」と感謝の意を述べられました。

西川社長が代表として挨拶に立ち、「協

定締結が完了し、災害時の支援体制が整いました。私たちの専門知識や技術、また東日本大震災時の支援経験を活かし、微力ながらお手伝いさせていただきます。」と誓いの言葉を述べられました。



締結式での平井知事と西川社長（右から2人目）

●人事の基本指針

1. 適材適所・人材育成を旨とした人事配置、ローテーションの実施をめざします
2. 透明・公正かつ実力主義による評価、処遇の実現をめざします
3. 企業実力に見合った労働条件の設定と社会要請に対する迅速な制度的対応をめざします
4. 能力開発のための教育機会の積極的提供をめざします

●取引基本指針

1. 透明性 オープンで透明性のある取引をします
2. 公正 お取引先の選定は公正な評価に基づきます
3. 法令遵守 関連法規を遵守し、かつ法令の条項とその精神も尊重し、業務を遂行します
4. 環境保全 積極的に「グリーン購入」を進めます
5. 相互信頼 お取引先との対等なパートナーシップに基づく取引を通じ、信頼関係を築きます
6. 倫理 厳正な倫理観に基づくお取引と適切な関係を維持します

活動の基本

1. 安全な地域社会づくりのためのグループ・組合員参加型の社会貢献活動を推進します
2. 組合員のボランティア活動を支援をします
3. 社会貢献活動において、NPO・NGO等と協力体制を整えます

基本理念

これからも環境リサイクル時代の社会貢献活動に取り組みます

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の前身であるNGPグループは1985年(昭和60年)に結成され、2004年には国内唯一の経済産業大臣認可の事業協同組合として組織を法人化いたしました。環境問題や資源問題に対する意識が全世界規模で高まる昨今、国内でも産業の裾野が広い自動車業界では、特に積極的な対応が求められています。

また2005年からは、自動車リサイクル法が完全施行となり、法令遵守、使用済自動車の適正処理が義務付けとなりました。

このような時代背景から、NGPグループではこれまで、従来のリサイクル部品共有在庫ネットワークの運営を行うとともに、使用済み自動車適正処理ネットワークとして全会員参加によるエコ推進運動の展開、損害保険会社・リース会社等の全損車輛取引マニュアルを作成し、その適正処理を遵守した業務や自動車リサイクル法等の新たな制度説明会などの組織的活動を展開してまいりました。

さらに前述のとおり組織を法人化することで急激に進む環境保全への迅速な対応、専門性を追求する役割に対してNGP協同組合の組合員が果たすべき使命を全うできるような体制が整いました。

NGP協同組合はこれからも、リサイクル部品の規格統一化、技術教育、啓蒙活動など、環境リサイクル時代の社会貢献活動をNGP協同組合組織活動の主課題として全力で取り組んでいきます。

NGPグループ21世紀宣言

- 一、我々は、使用済み車輛を適正に処理します
- 一、我々は、自動車リサイクル部品を全面的に啓蒙します

我々NGPグループは、リサイクル部品流通業界のリーダーとして、一人ひとりが責任を持ち、21世紀の社会に貢献していくことを誓います。2005年施行の自動車リサイクル法に合わせ、地域社会に信頼され、存在価値のあるグループを目指します。

行動指針

- ① 環境保全活動を当グループの最重要課題と位置づけ、グループ全従業員の共通認識とします。
- ② 環境に関する法律、規制、自動車リサイクル法等を遵守し環境保全に取り組みます。
- ③ 環境負荷低減のため、環境目的・環境目標を定め、定期的に見直しを行うことにより、継続的な改善を図ります。
- ④ 工場内における解体作業については、適正かつ効率的なリサイクルが行われるよう解体技術の向上に努めます。また、同時に廃車車輛の全てに manifests 発行による管理を徹底します。
- ⑤ 設備の稼働については通常時のみならず、非通常時においても廃棄物の漏洩、飛散等の未然防止、及び騒音の削減等の地域環境保全に努めます。
- ⑥ 事業活動全般に関して大気汚染、土壌汚染、水質汚染、悪臭の防止に努めます。
- ⑦ グリーン購入法に基づき、使用物品等を見直し、再生紙などの利用促進をするとともに、電気・水道水等のエネルギー消費の低減に取り組みます。
- ⑧ 定例ブロック会議を通して本方針を全グループ企業に周知させる

Contents

トップメッセージ…………… 2

経営体制 …………… 4

コーポレートガバナンス …………… 4

リスクマネジメント …………… 5

2012年度活動報告 …………… 7

NGPの事業報告 …………… 8

自動車のリサイクル適正処理 …………… 8

リサイクル部品の生産・販売 …………… 10

環境報告…………… 12

環境マネジメントの取り組み …………… 12

ISO14001認証取得の推進…………… 12

主な自動車リサイクル部品のCO₂削減量… 13

リサイクル部品利用による CO₂削減効果の公表数値 …………… 13

環境エコバランスデータ(2012年度) …… 14

展示会への参加 …………… 15

社会性報告…………… 16

品質を通じてお客様と信頼関係を築きます …………… 16

従業員とともに …………… 18

調達取引先とともに …………… 18

社会とともに …………… 18

NGPのヘルマーク活動 …………… 19

組合員名簿

本報告書の概要

■編集方針

本報告書はNGPの社会的・環境的活動報告と取り組み成果をステークホルダー（お客様・取引先・地域社会・従業員など）の皆様にご案内して、コミュニケーションを図り、取組みのさらなる向上をめざすことを目的に発行しています。本報告書では主要課題（事業を通じた価値の提供・資源リサイクル・地球温暖化防止対策）を優先的にご報告しています。

■本報告書の対象範囲

- 対象期間 2012年度(2012年9月～2013年8月)の取組みを中心に報告しています。
- 対象範囲 NGP日本自動車リサイクル事業協同組合および組合員企業

コーポレートガバナンス

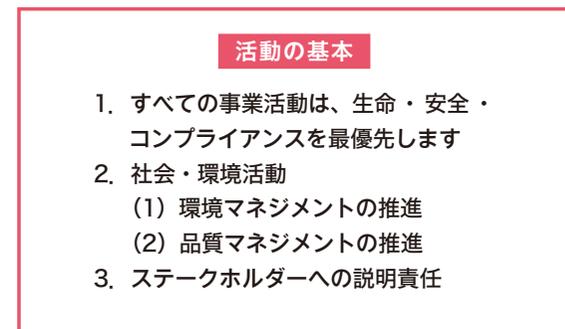
社会価値の高いグループをめざして

NGPは事業の継続的な発展と企業価値の向上に向けたガバナンスの確立に取り組み、さまざまなステークホルダーに向け、社会課題に対応するため、内部統制の仕組みを整備して、健全性・効率性・透明性の高い経営を実践していきます。基本理念・行動指針制定以来、理事長を議長として各部署の把握、担当役員全員がメンバーになり、組合の課題について、毎月定例として検討しています。経営環境の変化に的確に対応し、グループ経営の強化により企業価値を向上することがコーポレートガバナンスの基本であると考えています。

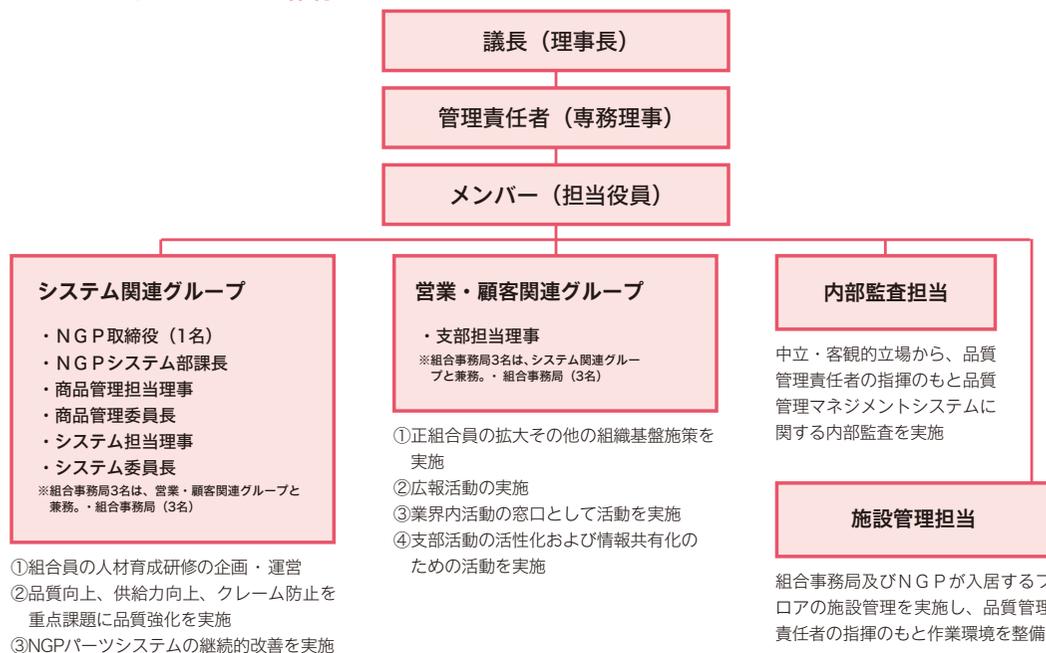
NGPの事業活動は多くのステークホルダーの皆様（利害関係を有する方々）との協力で進められています。私たちの理念の実践を果たすためには、それぞれのステークホルダーの皆様への責任を明らかにするとともに、日頃よりさまざまな方法で皆様のご意見・ご要望をお聞きして、経営目標に反映させます。

内部統制する組織体制

職務の執行にあたり、関連法令ならびに組合定款、基本理念、行動指針、品質マネジメント、コンプライアンス規制および個別の組合規則、通達等を遵守するものとし、これを確保するための体制を整備しています。



■NGPコーポレート・ガバナンス体制



- ①組合員の人材育成研修の企画・運営
- ②品質向上、供給力向上、クレーム防止を重点課題に品質強化を実施
- ③NGPパーツシステムの継続的改善を実施

ポータルサイト NGPエコひろば

ユーザーにNGPリサイクル部品は高品質で環境にやさしいこと またリサイクル部品で修理する修理工場をご案内しています

NGPはリサイクル部品の啓蒙と「エコ整備」に熱心な修理工場を案内するポータルサイト「NGPエコひろば」を開発・運用しています。このサイトでは自動車リサイクルとリサイクル部品の環境貢献と安心して使用できる製品の品質、活用事例などを案内し、修理部品のほとんどがリサイクル部品で賄えること、またリサイクル部品を使用することで車の修理費が大幅に節約できることなどをPRしています。さらにリサイクル部品で修理を希望するユーザーにはこのサイトから全国の修理工場（約8000社が登録）からお近くの工場を検索して修理費の見積りが取れる仕組みになっています。

本年はテレビCMなどを通じた同サイトの宣伝では「その手があったか！リサイクル部品」というキャッチコピーによりリユース部品を利用した廉価な修理を新提案しました。登録された修理工場は、



「エコひろば」を通じたお客様からの問い合わせに親切で丁寧な対応をしています。

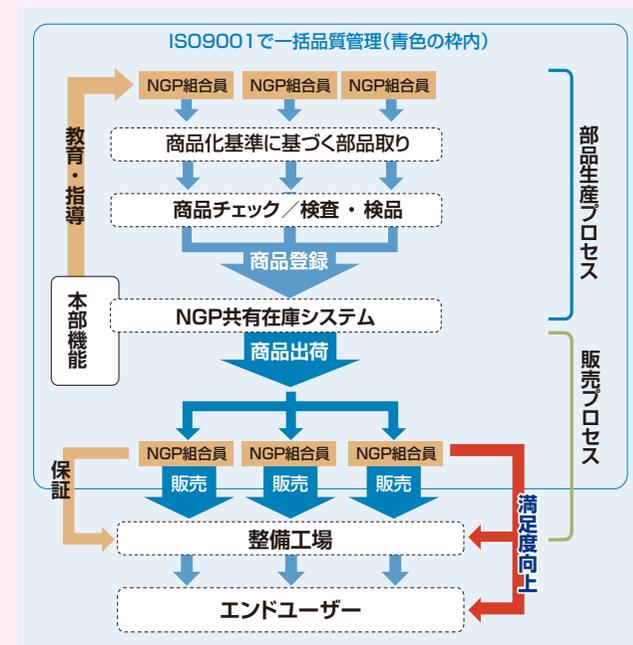
NGP 協 同 組 合はエコひろばを活用するお客様がさらに増えるよう引き続きPRに努めてまいります。また全組合員の営業車に「エコひろば」のラッピングを施しただけでなく、車両引き取りのトラックも広告媒体として活用して認知度アップを図っています。



(3) システム関連グループの役割
「商品化基準」および「NGPパーツシステム」の制作・運用管理を中心に活動し、組合員からの意見を吸い上げ、改善へとつなげていきます。

(4) 営業・顧客関連グループの役割
各支部の活動と連携しながら「商品化基準」の製作・運用管理に関する組合員からの意見や、ユーザーからの苦情を収集・分析し、改善のための活動を実施します。

(5) 商品管理責任者
「品質マネジメント」の徹底を図るために各組合員は企業内に商品管理責任者を配置して、製品の生産・検査から保管・登録までの管理と品質向上の業務を実施します。



品質を通じてお客様と信頼関係を築きます

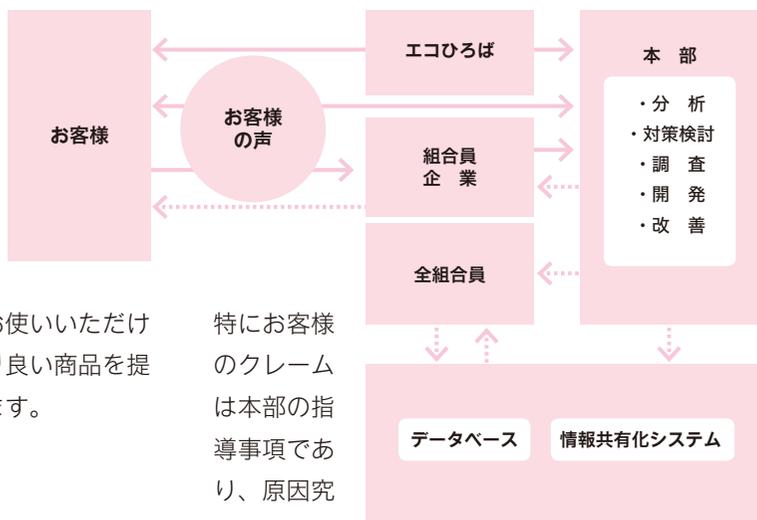
お客様第一の安心品質

自動車部品にはお客様の安全が託され、万全な品質を保証する責任があります。リサイクル部品も同様でNGPは発足以来、お客様を最優先する「お客様第一主義」に徹することで、安心な製品を提供してきました。これからも安心してリサイクル部品をお使いいただけるために、お客様の視点に立ち、より良い商品を提供し続けることが使命であると考えます。

「お客様の声」の反応

NGPは日常の業務や電話・メールなどの情報を通じて寄せられた商品・サービスに関するご相談・ご意見・ご要望に迅速・丁寧な対応を心がけています。お客様の声はNGPへの期待であり、貴重なご指摘として認識し、真摯なコミュニケーションを図り、現場にフィードバックして、品質改善・販売対応でお客様の満足度を高めるために役立てています。

お客様の声の対応



特にお客様のクレームは本部の指導事項であり、原因究明の調査を着実に実行し、重要なものは本部で協議して業務改善の指導による再発防止に取り組んでいます。

NGPはお客様の満足度を高めるため、得られたお客様のご意見を業務に十分反映するとともに、製品やサービスの信頼につながる改善につなげていきたいと考えています。

品質管理マネジメント

ISO基準による品質向上の取り組み

NGPは発足以来リユース部品を安心して利用していただくためにグループ内で厳正な品質基準を設け、適正な製品だけを共有在庫として取り扱い、市場に供給する努力をしてきました。

さらにリサイクル部品を「世界基準」で提供することをめざすISO9001を2007年に認証取得。本部で運営する共有在庫システムを軸に組合員の部品生産・登録までの全プロセスを一括してISO9001でマネジメントし品質管理を本部が負う方式です。NGPはリユース部品の生産・登録業務を標準化して品質レベルの揃った製品を在庫し、販売面でも統一的な品質保証レベルを示すことで、お客様に製品を安心して購入いただける体制を確立しました。

ISO9001認証取得は部品生産登録の一連の流れが

国際的な品質規格で管理されていることを意味します。

品質マネジメントの体制

NGPはお客様に満足していただける商品・サービスを提供するため、品質マネジメントを確保する以下の体制を整備しています。

それぞれの役割

- (1) 理事長の役割
品質マネジメントシステムの構築およびその実施、ならびにその結果が計画通りに達成されるよう改善します。
- (2) 専務理事の役割
専務理事は品質管理責任者に位置づけられ、品質管理責任者は理事長を補佐し、品質マネジメントに関する業務の一切を統括します。

主なステークホルダーとのかかわり



リスクマネジメントの取り組み

事業活動を遂行するうえで、経営に重大な影響を与える危機を予防し、事業構造・環境変化など今後のリスク管理体制を構築し、危機の予防と発生時の被害軽減などを重点に置いて、取り組みをしています。

■主なリスク項目

内部要因	環境汚染、労働災害、契約義務違反、生産障害、リコール、苦情トラブルの拡大、人事労働問題、人権問題、機密漏洩、不良債権、情報システム障害、交通事故など
法令違反	独禁法違反、脱税、従業員・役員の犯罪、不祥事、特許侵害など
外的要因	偶発事故、輸送機能トラブル、株の買占め、株主代表訴訟、サイバーテロなど
災害・事変	自然災害、急激な為替・金利の暴騰、遭遇事変など

す。2011年3月11日に発生した東日本大震災による地震などの大規模災害など、新たなリスクも顕在化しており、今後のリスク傾向を見極めながら、リスク管理を強化していきます。

コンプライアンスの取り組み

社会から信頼・共感されるための基盤はコンプライアンスが事業活動の原則で、コンプライアンス意識の向上に努めるとともに、ステークホルダーへの期待に応えるため、リスク管理体制の強化を進めています。NGP基本理念に基づき、法令遵守はもとより社会規範・企業倫理に則って誠実に行動するものとしています。そのため組合員企業の組織風土を継続的に変革するとともに、不正防止、責任体制の確立に取り組んでいます。

コンプライアンスの基準

遵守しなければならない具体的基準として、次の22項目を掲げています。さらにコンプライアンス規制では、その他すべての関連法令も遵守対象としています。

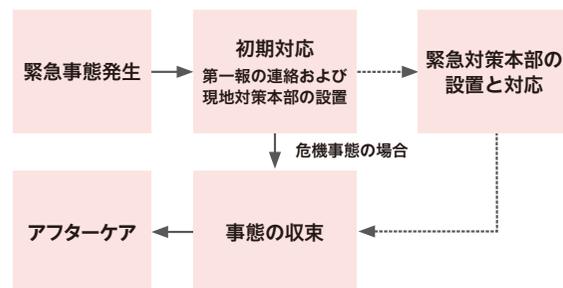
■コンプライアンスの具体的基準（22項目）

1. 安全管理	13. 不当差別の禁止
2. 環境保護	14. セクシャル・ハラスメントの防止
3. 消費者保護	15. 個人情報の保護
4. 独占禁止法の遵守	16. 児童労働、強制労働の防止
5. インサイダー取引の禁止等	17. 利害相反行為の禁止
6. 不正競争防止法の遵守	18. 会社資産の使用禁止
7. 政治家、官公庁、公務員との公正な関係	19. 会社情報等のセキュリティ確保
8. 情報開示、責任説明	20. 適正な輸出管理
9. 反社会的勢力への対応	21. 投機目的取引の禁止
10. 適正な会計処理	22. 危機管理の徹底
11. 労働時間等の公正申告	
12. 不適切な贈答品等の受領禁止	

災害の未然防止と緊急時対応

NGPは事業活動において大量の危険物を取り扱っています。火災・爆発事故・労働災害といった災害の未然防止を最大の課題と位置付け、設備保全や運転管理、社員の教育研修など、あらゆる機会を通じて徹底を図ることとしています。台風・地震などの自然災害やテロ対策を含めた万一の緊急事態発生にも備えて、適切な対応を図る体制を強化しています。事故・災害の発生時の対応は連絡通報および防災活動の指揮方法を定めており、これに基づき適切な防災措置をただちに行うとともに、体制が機能することを定期的に確認しています。

■連絡通報および防災活動の指揮方法



災害発生時の対応

万一事業所内で災害が発生した場合は災害発生事業所などにおいて①災害調査報告書、②対策および再発防止策実施計画書、③災害原因分析書を作成することとしています。作成後本部に報告され、理事会において検討されます。最終的に本部で共有化し、再発や類似災害の防止を図ることとしています。

情報セキュリティ対策

他者からお預かりした情報も含め、すべての情報の安全確保と適正な活用を行うために、社内外の脅威と脆弱性から情報を守るルールを定めて、情報セキュリティおよび個人情報保護活動に取り組んでいます。また個人情報保護の立場から社内規定を制定し、情報の内容・形態に応じた適切な管理を実施しています。

個人情報保護方針

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合（以下「本組合」という）は、本組合の事業活動を通じて得た個人情報の保護に努めることを社会的責務と認識し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

- 個人情報の取得について**
本組合は、適法かつ公正な手段によって、個人情報（氏名、性別、生年月日、住所、電話番号、FAX、メールアドレス、所属組合、役職、その他の記述により当該本人を識別できるもの）を取得いたします。
- 個人情報の利用について**
本組合は、本組合の事業活動やサービス提供の過程で収集した個人情報を本組合事業活動及びサービス提供とこれに付随する業務を行う目的の範囲内で利用させていただきます。上記以外の目的で利用する必要がある場合には、あらかじめご本人の承諾を得ることを前提といたします。また、収集した個人情報の取扱いを外部に委託する場合には、委託先について厳正な調査を行ったうえで、個人情報の漏洩等の事故が発生しないよう適正な監督を行います。
- 個人情報の第三者提供について**
本組合は、下記の場合を除き、個人情報を、事前に本人の同意を得ることなく、第三者に提供いたしません。
（１）法令に定める場合
（２）国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受け法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- 個人情報の管理について**
（１）本組合は、個人情報の正確性を保ち、これを安全に管理いたします。
（２）本組合は、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩等を防止するため、不正アクセス、コンピュータウイルス等に対する適正な情報セキュリティ対策を講じます。
（３）本組合は、個人情報を持ち出し、外部へ送信する等によりこれを漏洩させません。
- 個人情報の開示・訂正・利用停止・消去等について**
本組合は、本人が事故の個人情報について、開示・訂正・利用停止・消去等を求める権利を有していることを認識し、これらの要求がある場合には、誠実に対応いたします。
- 組織・体制**
（１）本組合は、個人情報保護管理責任者を置くとともに、個人情報を取り扱う部門ごとに部門責任者を置き個人情報の適正な管理を実施いたします。
（２）本組合は、従業員に対し個人情報の保護及び適正な管理方法についての研修を実施し、日常業務及び退職後における個人情報の適正な取扱いを徹底いたします。
- 個人情報保護コンプライアンス・プログラムの策定・実施・維持・改善**
本組合は、この方針を実行するため、個人情報保護コンプライアンス・プログラム（本方針・個人情報保護規程その他の規程を含む）を策定し、これを本組合役員その他関係者に周知徹底させて実施し、維持し、継続的に改善いたします。

展示会への参加

リサイクル部品を使った環境に優しい自動車修理を訴える

「エコプロダクツ2012」に7年間連続で単独出展

NGP協同組合は昨年12月13～15日の3日間、東京都江東区の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロダクツ2012」に出展しました。エコプロダクツは日本最大の環境展示会で、イベント3日間の来場者は約18万人に達しました。NGPブースではリサイクル部品の展示とともにチラシを詰め込んだエコバッグを2万セットを用意して環境委員会、総務広報委員会のメンバーが総出で来場者に配布、CO₂排出抑制につながるリサイクル部品を使った自動車修理について訴えました。

今回のブースの特徴は10月から全国放送しているテレビCMを活用、契約しているタレントを全面的に押し出して親しみやすくしたことです。さらにさまざまなリサイクル部品の現物展示とともにNGPが取り組んでいる研修活動なども紹介し、高品質なリサイクル部品供給のために組合員が一丸となり日々努力を続けていることをアピールしました。

エコプロダクツの開催期間に合わせてテレビCMを再開、リサイクル部品を使った自動車修理があることを積極的に宣伝し、エコプロダクツの展示と連動してユーザー各層への浸透を図りました。

このほかNGPブースではNGPがベルマーク運動に協賛し、東日本大震災被災地の継続支援のひとつとして昨年4月からギャランティーシールに5点のベルマークを付けてリユース部品販売を行っていることも紹介しました。また昨年好評だったエンブレム配布を「被災地支援コーナー」として今回も実施、気に入ったエンブレムと引き換えで支援の寄付を募りました。寄せられた浄財は日本赤十字社にすべて寄贈いたしました。

今回のエコプロダクツはエネルギーマ

ネージメントなどを訴える展示ウエートが高かったですが、使用済自動車のリサイクル部品に興味を持つ人も多く、海外からのお客様を含めてNGPのリサイクル部品に高い関心を持っていただけました。



大量のエンブレムは注目の的、関心も高い

海外のお客様もNGPのリサイクル部品に注目

エンジン用リターナブル梱包材などを展示

IAAE2012に出展

3月13～15日、東京都江東区の東京ビッグサイトで開催された「第11回国際オートアフターマーケットEXPO（IAAE）



エコひろばなどをパネル展示したNGPブース

2013」にNGP協同組合は出展し、5月から本格的に動き出すエンジン用リターナブル梱包材の展示などを行いました。さらにNGPエコひろばやベルマーク運動への取り組みについてパネル展示しました。IAAEは自動車アフターマーケットの総合ショーで、自動車の販売・整備のシステム、修理用機材や用品など幅広い展示が行われます。自動車リサイクル部品関係ではNGP協同組合とともにジャパンリビルト、ウラワ産業、イトーパーツ、ターボテクノサービスのリビルト部品メーカー、日本リサイクル部品協議会などの業界団体がブースを設けました。

整備事業関連などの事業者の来場者が中心で、アフターマーケットでは超ハイテン材に対応した修理技術に関心が高く、その実演も行われました。

主催者の発表ではIAAEとともに同時開催したイベントを合わせた3日間の延べ来場者は3万118人ということです。



リサイクル部品でCO2が減らせることをPR

継続的な環境負荷低減に努めています

環境エコバランスデータ(2012年度)

IN PUT

資源・エネルギー投入量

■ 原材料 (使用済自動車)	68万台(前年比103%)
■ 電力	1,787万kwh(115%)
■ L P G	5.7万kg(146%)
■ 都市ガス	0.2万m ³ (100%)
■ ガソリン	461kℓ(99%)
■ 灯油	365kℓ(103%)
■ 軽油	6,448kℓ(110%)
■ 重油	310kℓ(101%)
■ 水	9,5万m ³ (前年比95%)

※2012年1月～12月消費量

NGP
全国139社
190拠点

使用済自動車の
適正処理

リサイクル部品の
生産

OUT PUT

環境負荷物質排出量

■ 販売部品 点数	113万点(前年比102%)
※ CO ₂ 削減量	79,749t
■ フロンガス	18万kg(120%)
■ 廃オイル	394万ℓ(115.9%)
■ L L C	168万ℓ(105%)
■ エアバック	158万個(125%)
■ 廃タイヤ	215万本(103.9%)
■ 廃バッテリー	655万kg(111.6%)
■ 使用済自動車	68万台(103%)

※2012年9月～13年8月実績

※CO₂削減量の数値はリサイクル部品のみ(新品・社外新品部品を除く)を対象としています。

2012年NGP組合員事業所エネルギー消費量

※2012年1月～12月

支部	電力(kwh)	水(m ³)	LPG(kg)	都市ガス(m ³)	ガソリン(kℓ)	灯油(kℓ)	軽油(kℓ)	重油(kℓ)
北海道	879,103	4,906	4,527	58	23	128	449	3
東北	4,980,500	18,354	21,957	99	129	106	1,122	0
北関東	5,135,702	19,065	5,837	1,579	80	25	987	93
南関東	698,168	8,330	5,156	519	57	10	291	0
北陸	859,586	7,119	793	0	9	25	748	14
東海	1,276,633	11,574	5,217	0	53	19	608	0
関西	897,943	4,544	1,610	254	28	10	616	50
中四国	2,089,468	15,154	8,765	26	62	36	1,098	149
九州	1,049,294	6,143	3,386	0	20	7	530	1
合計	17,866,397	95,188	57,249	2,534	461	365	6,448	310
昨年度合計	15,537,299	95,880	39,548	2,336	468	356	5,839	306
CO ₂ 排出量(kg)	9,915,850	34,268	172,147	5,271	1,070,614	909,206	16,893,576	839,956
昨年度実績	8,623,201	34,517	118,922	4,859	1,085,774	886,365	15,296,996	830,122
CO ₂ 排出量合計	29,841t							
昨年度合計	26,881t							

2012年度活動報告

2012年 9月

テレビCM全国放映開始



「第9期戦略会議・
拡大委員長会議」実施

9月12～13日(2日間) 静岡熱海・ホテルニューアカオ
「500億円プロジェクト」達成に向けた組合強化策・第9期組織活動の基本方針



「第4回初級生産管理者・
初級フロントマン研修会」実施

9月13～15日(3日間) 東京晴海・晴海グランドホテル・商品規格、品質規格の基本研修

「第25回経営者研修会」実施

9月21～24日(4日間) 東京新木場・BumB東京スポーツ文化館にて次期オーナーを対象とした研修会

10月

「カイゼン塾」開始

「第8回NGP協同組合通常総会」

10月29日東京・品川プリンスホテルにて通常総会を開催

11月

「第15回ハイブリッドカーセミナー」実施

11月5～6日(2日間) 静岡裾野市・あいおいニッセイ同和自動車研究所。

12月

日本最大の環境展「エコプロダクツ2012」出展

12月3～5日(3日間) 東京ビッグサイト・来場者18万人

2013年 1月

「NGP青年部会」発足



「全整協」と包括提携

1月30日東京港区ホテルにて全国自動車整備協業協同組合協議会(全整協・濱徹雄会長)とリサイクル部品の流通拡大を目的に包括的な提携



3月

「第23回中級研修会」実施

3月11～15日(5日間) あいおいニッセイ同和自動車研究所にて全国の中堅社員を対象としたリーダー研修会。

「第11回国際オートアフターマーケット」に出展

3月13～15日(3日間) 東京ビッグサイト・リユース部品の業界統一の保証基準をPR。

4月

「マフレ・ワランティ・ジャパン」と業務提携

5月

「第16回ハイブリッドカーセミナー」実施

5月21・22日(2日間) 静岡裾野市・あいおいニッセイ同和自動車研究所。

「第5回生産STEP UP研修会」実施

5月22～24日(3日間) 静岡裾野市・あいおいニッセイ同和自動車研究所。

6月

「第23回基礎研修会」実施

6月27～30日(4日間) 東京新木場・BumB東京スポーツ文化館。



7月

「第7回フロントSTEP UP研修会」実施

7月22・23日(2日間) 静岡裾野市・あいおいニッセイ同和自動車研究所。

8月

「第26回経営者研修会」実施

8月22～25日(4日間) 東京。新木場・BumB東京スポーツ文化館。

自動車復元技法・出張研修会開催

钣金、塗装の修理工程や交換パネルの見分け方などを講習と実習で学ぶ自動車復元技法・出張研修会が、7月3日から8月6日の1ヵ月間で合計9回、全国の各支部単位で開催されました。



グループごとの結果発表に対して、講師が実車を使って解説

開催支部	開催地	開催日	受講人数
関西支部	兵庫	7月 3日	10社12名
中四国支部	岡山	7月 5日	20社23名
東海支部	愛知	7月10日	19社22名
北陸支部	福井	7月12日	11社15名
東北支部	宮城	7月17日	23社26名
九州支部	福岡	7月19日	16社19名
南関東支部	静岡	7月30日	26社26名
北関東支部	埼玉	8月 2日	19社24名
北海道支部	石狩	8月 6日	21社22名

自動車リサイクルの適正処理

自動車リサイクルを推進して循環型社会構築を目指します

全国で年間約400万台の使用済自動車が廃車になっています。これを一台1トンの廃棄物で計算すると約400万トンで、国内のすべての年間廃棄物量約7,000万トンのおよそ6%になり、廃車はリサイクルされないと、とりわけ大量な廃棄物として大きな社会問題になります。以前に自動車の不法投棄・不適正処理が社会問題化したこともあり、それを防止してフロン類・エアバック類の処理や、資源を回収する目的で法制化されたのが「自動車リサイクル法」(2005年施行)です。この法律により自動車の所有者・引取事業者・メーカー・輸入業者の各々が廃車の適正処理と管理に責任を持つことになり、近年使用済自動車の回収率は90%を超え、適正処理する私たち自動車リサイクル事業者の役割はますます重要になりました。適正処理とは最初に燃料(ガソリンなど)、エンジンオイルなどの油類、ラジエターの冷却水(LLC)、カーエアコンの冷媒ガスを抜き取り、エアバックの展開処理後、解体され再生可能部品を取り外し、残った車両本体部分はプレスで塊にしてシュレッダーにかけ、再資源化を図ります。自動車は鉄・アルミなどの有用な金属が車両の約70%を占め、車両総重量の約80%は資源として再利用されています。

ELV機構、「自動車リサイクル士」制度認定講習会を東京からスタート

NGP協同組合の長谷川利彦理事長が副代表理事を務める、日本ELVリサイクル機構(ELV機構、代表理事=河村二四夫・河村自動車工業社長)が8月23日、日本自動車会館(東京都港区)で自動車リサイクル士制度認定講習会を開催しました。

これは使用済み自動車の適正処理促進を目的とするもので、ELV機構が従来開催していた全国地域団体講習会を発展させ、関係官庁、日本自動車工業会などの協力のもと制度化に漕ぎ着けています。

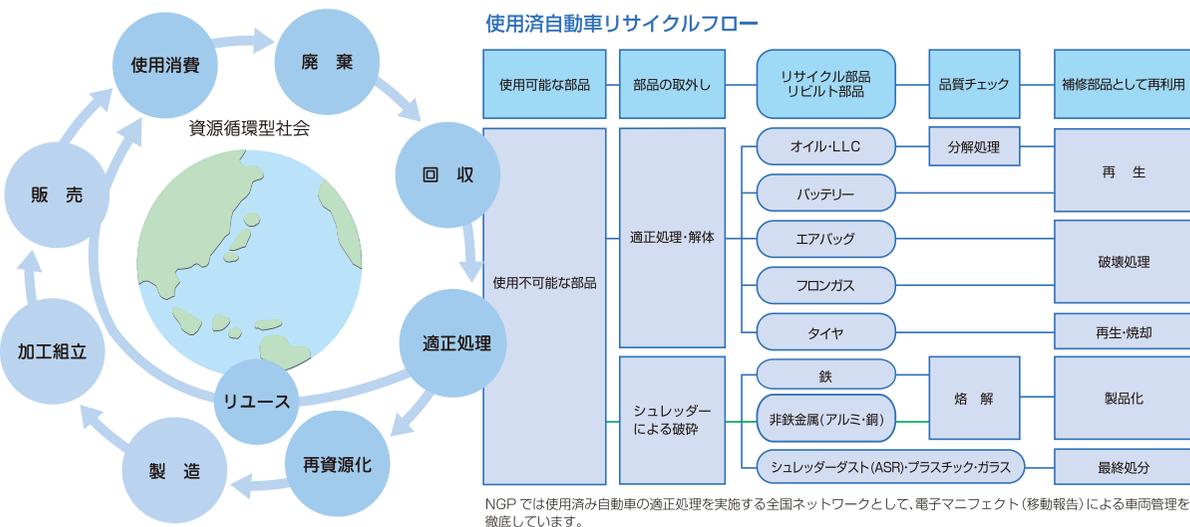
認定講習は東京での関東ブロックを皮切りに東北(仙台・9月12日)、北海道(札幌・10月4日)、近畿(大阪・10月17日)、沖縄(沖縄・11月8日)、中国(広島・11月20日)、四国(高松・12月11日)、九州(福岡・11月予定)、中部(岐阜・2014年1月中旬以降予定)のスケジュールで各ブロックを一巡します。



講習会で挨拶する河村代表理事



認定講習会に合わせて新調したテキスト2冊組み



物流



リサイクル部品の活用

リナーナブル梱包材の開発と利用拡大

リターナブル梱包材の活用は段ボールなどの使い捨て梱包材から繰り返し使用できる梱包材による廃棄物の削減と製品配送時のCO₂排出の減少、またリユース部品の環境価値を高めることを目的にNGPが業界の先頭を切って2008年より取り組みを始めました。「中身も箱もECO主義!」をモットーに日々の地道な開発・改善と普及・利用を拡大しています。ドア・フェンダー用、バンパー用は大きな環境効果をあげ、片道のみでの使用ができない段ボールと比



ドア用



バンパー用

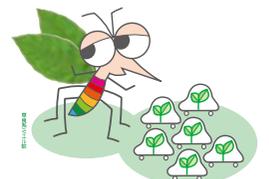


エンジン用

較するとCO₂削減は10分の1から5分の1にまで削減できている計算になります。エンジン用も本年4月より運用を開始し、今後も開発の可能性のある梱包材のすべてに挑戦していきます。

NGPリユース部品の「CO₂削減効果の見える化」

NGPは「CO₂削減効果の見える化」をNGPシステムを改善して昨年よりNGPの発行するすべての見積書・納品書・請求書に部品一点一点のCO₂削減効果*の数値を表記して、お客様にご提供しています。リユース部品の利用による環境貢献数値がユーザーに確認できることにより、広くリユース部品の活用を盛り上げ、CO₂削減のシンボルとして利用していただければと考えています。



「見える化」ポスターから

■主な自動車リサイクル部品(リユース部品)のCO₂削減量

外装内装部品	重量	エンジン部品	重量	電装部品	重量
フロントバンパーAssy	24.8kg	エンジンAssy	454.7kg	クーラーコンプレッサー	29.2kg
フロントウィンドシールドガラス	30.7kg	ターボチャージャー	21.5kg	バッテリー	44.1kg
右ヘッドライト/ランプ	9.7kg	パワステベーンポンプ	11.6kg	オートマチックトランスミッション(AT)	344.6kg
右フロントフェンダー/パネル	9.4kg	ラジエター	23.3kg	ステアリングラック&ピニオン	10.7kg
右フロントドアAssy	105.1kg	スターターモーター/セルモーター	12.5kg	右フロントドライブシャフト	34.7kg
トランクリッド	38.5kg	オルタネーター/ダイナモ	18.1kg	右フロントナックルAssy	56.8kg
		マフラーAssy/マフラーキット	49.9kg	右フロントストラットAssy	87.9kg

*CO₂削減量とは……車を修理する際、新品部品で修理する場合とリサイクル部品で修理する場合のCO₂排出量の差を数値化したものです。
 ※上記CO₂削減量は日本自動車リサイクル部品団体協議会グリーンポイントクラブと早稲田大学環境総合研究センターの産学共同研究による数値です。(Ver.1305) 国産車(2005年式、1500cc・4ドアセダンタイプの場合)の数値を参考にしています。

■リサイクル部品利用によるCO₂削減効果の公表数値

環境問題からリサイクル部品によるCO₂削減効果を早稲田大学環境総合研究センターとJAPRA(日本自動車リサイクル部品協議会)の共同研究で公表しています。

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合販売分より/2012年度分 ※販売点数はリサイクル部品のみ(新品・社外新品部品を除く)を対象としています。

	2012年9月	10月	11月	12月	2013年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
販売点数	181,462	200,433	191,136	185,809	178,455	188,133	187,653	190,200	173,861	182,178	256,032	218,189	2,333,541
CO ₂ 削減値(kg-)	6,681,267	6,856,377	6,825,438	6,631,460	6,375,459	6,541,499	6,695,346	7,004,156	6,417,630	6,586,826	6,856,619	6,277,154	79,749,231

リユース部品(リサイクル部品)の生産・販売

安全な製品を提供する リサイクル生産技術

良質なりユース部品を安価にお届けするために、NGPはたゆまない努力と探究心で部品生産を展開しています。自動車業界はハイブリッドカーの普及、電気自動車の登場など大きな変化を遂げつつあります。自動車の進歩から自動車部品も複数の素材が複雑な構造の中に使用され、部品の取扱い、異物の除去、資源の区分けなどリサイクル率を左右する専門性の高い技術が必要になっています。そのためNGPはリサイクル技術向上に役立つ部品情報を集約する「共有情報の電子化」を推進して、自動車リサイクル部品の生産に必要な部品情報を、NGP組合員ネットワークシステム（NGPシステム）に蓄積し、個別車種・個別部品の取扱いにも対応する情報を全組合員に開示しています。これにより部品クレームも一元管理され、製品の安全性・信頼性を大きく高めることになりました。またこのシステムは組合員企業の熟練技術者の知識やノウハウを吸収し、データベースに蓄積してNGP全体のリサイクル技術のレベルアップが図れると考えています。NGPは安全で効率的な部品回収に向け、メーカー・業界の協力を得て、組合員向け生産研修会・ハイブリッドカーセミナーを毎年定期的を実施し、さらなる技術革新を図っています。

リユース部品の保証基準

リユース部品の保証基準はエンジン・ミッションの主要機能部品、準主要機能部品、その他部品、外装・内装部品の4つのカテゴリーに分け、代品交換や返金に応じる期間・走行距離を定めるとともに、主要機能部品、準主要機能部品について、整備事業者に組み替え工賃の保証を明示、品質基準はそれぞれの部品ごとにチェックするポイントの共通化を図っています。



「信頼の証」ギャランティシール

NGPのすべてのリユース部品に品質を保証するギャランティシールを貼布し、厳格な「NGP検査基準」を合格した製品の信頼を証明しています。
※このシールにベルマークをつけて子供たちの教育を支援しています

リユース部品業界統一保証基準抜粋

エンジン廻り部品	ボディ部品
エンジン  <p>保証期間 6ヶ月または5,000km走行まで ※NGP部品は10,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	ドア  <p>保証期間 現品確認期間 1週間まで</p> <p>保証内容 代品交換または返金(返品)の受付</p>
ターボチャージャー  <p>保証期間 3ヶ月または3,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	バンパー  <p>保証期間 現品確認期間 1週間まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>
オルタネーター  <p>保証期間 3ヶ月または3,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	フロントフェンダー  <p>保証期間 現品確認期間 1週間まで</p> <p>保証内容 代品交換または返金(返品)の受付</p>
スロットルボディ  <p>保証期間 3ヶ月または3,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	トランクリッド  <p>保証期間 現品確認期間 1週間まで</p> <p>保証内容 代品交換または返金(返品)の受付</p>
スターター/セルモーター  <p>保証期間 3ヶ月または3,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	フロントガラス  <p>保証期間 現品確認期間 1週間まで</p> <p>保証内容 代品交換または返金(返品)の受付</p>
キャブレター  <p>保証期間 1ヶ月または1,000km走行まで ※NGP部品は3ヶ月または3,000kmまで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	駆動系部品
噴射ポンプ  <p>保証期間 3ヶ月または3,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	トランスミッション  <p>保証期間 6ヶ月または5,000km走行まで ※NGP部品は10,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>
電装系部品	パワステポンプ  <p>保証期間 3ヶ月または3,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>
クーラーコンプレッサー  <p>保証期間 3ヶ月または3,000km走行まで</p> <p>保証内容 代品交換と工賃負担</p>	

※「NGP保証基準」に則ります

NGPリビルト部品延長保証制度

NGPはリビルト部品業界に提供している部品の一部に部品メーカーの定める保証期間に上乗せた「プラス延長保証制度」を実施しています。

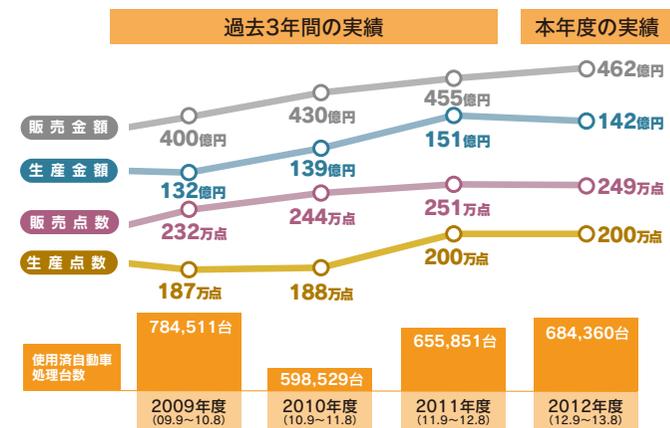


※自動車リサイクル部品は大きく分けて、取り出してそのままの部品を利用する「リユース部品(中古部品)」と、オーバーホールして再商品化した「リビルド部品(再生部品)」の二種類となります。NGPでは主にリユース部品を生産・販売しています。

本年度のリサイクル部品生産・販売実績

支 部	リサイクル部品 生産点数 (点)					リサイクル部品 生産金額 (千円)					リサイクル部品 販売点数 (点)				
	上期	下期	合計	前年	前年比%	上期	下期	合計	前年	前年比%	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	150,215	157,325	307,540	300,146	102.5	993,419	978,661	1,972,080	1,925,949	102.4	199,495	202,327	401,822	382,254	105.1
東 北	103,269	111,071	214,340	217,992	98.3	692,982	694,679	1,387,661	1,469,550	94.4	92,345	90,667	183,012	188,815	96.9
北関東	124,133	121,465	245,598	236,856	103.7	954,560	940,797	1,895,357	2,066,140	91.7	297,360	293,224	590,584	484,838	121.8
南関東	79,441	81,910	161,351	158,887	101.6	556,526	566,448	1,122,974	1,155,927	97.1	117,089	119,302	236,391	333,159	71.0
北 陸	100,214	99,903	200,117	173,065	115.6	707,701	675,843	1,383,544	1,690,201	81.9	90,819	86,909	177,728	149,700	118.7
東 海	112,228	117,617	229,845	264,044	87.0	1,149,507	1,133,545	2,283,052	2,338,242	97.6	153,988	148,341	302,329	384,311	78.7
関 西	63,597	63,606	127,203	132,484	96.0	532,089	514,405	1,046,494	1,113,832	94.0	70,371	71,588	141,959	140,745	100.9
中四国	160,121	168,733	328,854	332,429	98.9	1,003,156	1,007,150	2,010,306	2,159,780	93.1	117,925	124,605	242,530	237,867	102.0
九 州	92,940	92,617	185,557	187,774	98.8	573,139	548,709	1,121,848	1,205,671	93.0	105,368	111,071	216,439	216,092	100.2
合 計	986,158	1,014,247	2,000,405	2,003,677	99.8	7,163,079	7,060,237	14,223,316	15,125,292	94.0	1,244,760	1,248,034	2,492,794	2,517,781	99.0

支 部	リサイクル部品 販売金額 (千円)				
	上期	下期	合計	前年	前年比%
北海道	2,807,210	2,895,151	5,702,361	5,328,856	107.0
東 北	1,854,183	1,898,552	3,752,735	3,808,998	98.5
北関東	4,042,518	4,201,254	8,243,772	8,167,338	100.9
南関東	3,065,133	3,263,245	6,328,378	6,345,798	99.7
北 陸	1,662,516	1,684,101	3,346,617	3,284,841	101.9
東 海	3,306,033	3,425,433	6,731,466	6,442,107	104.5
関 西	1,486,586	1,505,804	2,992,390	3,044,868	98.3
中四国	2,441,960	2,566,031	5,007,991	5,042,984	99.3
九 州	1,976,191	2,101,957	4,078,148	4,068,018	100.2
合 計	22,642,330	23,541,528	46,183,858	45,533,808	101.4



カイゼン塾で現場カアッブをめざせ!

「500億円プロジェクト」達成に向けた組合強化策 一人ひとりの力で解体現場を生産工場に大転換

NGPカイゼン塾がスタートしました。「強い組合員を育てる」を事業テーマとした今期のNGP重点施策のひとつです。リユース部品生産カアッブは目標である売上げ500億円の達成と、その先を見据えたNGPの自力カアッブに直結します。カイゼン塾の必要性として、厳しい経営環境の変化があります。仕入廃車車両価格の高止まり、部品販売価格の低落傾向、また鉄スクラップをはじめとする素材価格の低迷などがあげられます。そのためには作業の無理・無駄をなくし、生産効率を高める現場の改善が必要で、カイゼンはさまざまな効果とメリットを期待できます。具体的には ①事前研修と仕事環境の整備 ②工場作業の最適化 ③マネジメントの向上の3ステップで実施します。組合員3社を1チームとして各社が持ち回りで会場を提供し、コンサルタントが

参加し活動します。塾のない日は各社のカイゼン推進者だけで「自主カイゼン」を実施します。大事なことは自分達だけで行なう自主カイゼンの場で、積極的に意見を出し合い取り組むことができるかが重要なポイントとなります。カイゼン塾の実施期間は半年ですが、活発な活動で職場環境を改善するまでには時間を要します。カイゼン塾終了後も継続的な自主カイゼンを実施し、一人ひとりの力でカイゼンを目指すことになります。



初日のメーンが赤札大作戦



整理された工場でも無駄なものが出てくる